

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 北九州市立すがお小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 803-0264
福岡県北九州市小倉南区大字山本393-6

E-mail : sugao-e@kita9.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 47名 女子 44名 合計 91名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校は「志を育てる未来志向型ふるさと教育」による環境を視点とした持続発展学習（ESD）を、以下の二点から取り組み、推進している。

（１）未来志向型ふるさと活動（環境を視点に、郷土・福祉・平和・国際理解とのかかわり、つながり）

①全校いかだ遊び・カヌー体験	学校の前を流れる紫川でいかだレースをしたり、カヌー体験をしたりして、ふるさとの川とふれあい・かかわりながら慣れ親しんでいく。
②全校紫川清掃	全校児童で学校の前を流れる紫川のゴミ拾い、清掃美化活動を行い、ふるさとの川の環境保全への意識を高める。
③ダム決壊を想定した風水害避難訓練	紫川上流の「鱒淵ダム」の決壊を想定し、安全・安心へ導く避難訓練を地域とともに挙げる。
④2年まちたんけん	川の上流に位置する「菅生の滝」や市の指定文化財の「眼鏡橋」を探検することでふるさとの自然やそこにかかわる地域の方との出会いを通してまちに親しみや愛着をもつ。
⑤3年キッズ新聞社	「菅生の滝」や鱒淵ダムを調べ、地域の特色を知り、広める。
⑥3、4年すがお生き物学習	「アサザ基金」の先生による環境学習。ふるさとすがおの生き物の生態と地域環境のつながり・かかわりについて学習する。また、4年生は学校の前の紫川の水生昆虫調べを通して、水質調査を行う。
⑦5年紫川の水質調査・竹炭づくりによる川の浄化活動	紫川の上流・中流・下流の水質調査を行う。また、ほたるの学習や紫川の水生物調査を通して、問題解決学習を展開していく。更に地域の方と校内の竹炭釜で竹炭をつくり浄化活動を行いながら、浄化効果も検証していく。学習のまとめとして新聞づくりに取り組み（NIE教育）地域や他校に発信していき、ふるさとの環境保全をよびかける。
⑧4、5、6年のリサイクル学習	古紙回収を見学したり、空き缶やペットボトルのキャップ集めの活動をしたり、3Rについて学習する。エコ回収については、全校児童にもよびかけ、社協のお渡しする。
⑨6年「すがお平和宣言」	全校による平和集会では、地域の方に平和への願いや大切さを話していただく。6年生は、平和集会での取組や修学旅行を通じた平和学習から「すがお平和宣言」をつくり、ホームページ等で発信していく。

（２）特産創生型ふるさと活動（環境にやさしい無農薬農業（勤労及び食育）とのかかわり・つながり）

①1、2年生活科小麦を育て、食べる	学校農園で小麦を育て、収穫・脱穀し、石臼で粉に挽いた後、地域の名人とうどん・パン・団子を作り、食べる。
②3年生総合すがおの大豆の大変身	学校農園で大豆を育て、収穫した大豆でみそや豆腐、きなこを作る。味噌は、収穫祭の団子汁に使い、地域の方に振る舞う。
③4年総合 高菜漬け	学校農園で高菜を育て、収穫し地域の名人と高菜漬けを作る。
④5年総合 竹炭米	川の浄化活動で作った竹炭を稲作にも活用し、学校の田で地域の名人と美味しい竹炭米を作る。
⑤6年総合 たくあんづくり	学校農園で育てた大根を収穫し、地域の名人とたくあんを作る。地域で開催されるたくあんコンクールに出店し収益を義援金として岩手県大沢小学校へ送り、交流を続けている。
⑥全校ふるさとふれあい収穫祭	5年生の竹炭米、全校児童が育て収穫した冬野菜、3年生の味噌、1・2年生の小麦（団子）を使って団子汁を作り、地域の方をお招きして収穫への感謝や喜びをともに分かち合う。また、地産地消のよさや生命の大切さを実感する。

「Think Globally, Act Locally.（地球規模で考え、足元から行動する）」のもと、環境教育を推進し、地域から市、県、国、世界へと、その視野を広げ、考えながら行動していこうとしている。「学校教育環境賞」を受賞した。また、今年度は北九州市教育研究委嘱学校（最終年次）・ユネスコスクール推進指定校（2年次）・NIE実践指定校（最終年次）の研究発表会を行った。市内外より200名以上の参加者があり、盛会裡に終わることができた。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）